

皆野橋 現地視察

11月22日、日本共産党埼玉県議団の村岡県議が、皆野町金沢の残土崩落現場調査に来町した際、『時間があつたら是非「歩道のない皆野橋」を見て欲しい』と申し入れ、現地視察が実現しました。

「これは危ない！」私たちが橋の隅で説明をしている時も、車はどンドン通過します。

「こんなところにおいて、危ないよ！」とドライバーのきつい視線を感じます。「新皆野橋ができれば交通量は減るから、、、」とということですが、車は通ります。朝夕、皆野高校の生徒たちが通ります。

荒川に架かる橋で歩道がないのは皆野橋だけです。

町のウォーキングコースにも入っています。

後日、村岡県議は県の担当部署へ申し入れをしました。

町からの定期的な要望、学校からの要望、町の人たちが声を出していくことが大切だと思います。

常山 知子

(八) オンダシ河原(続々々)

大野福次郎文書 大野福次郎らは、

オンダシ河原から親鼻に出て、栗谷瀬の渡―金比羅坂―根古屋を経て、小前の「隊長分の評議」に駆けつけるつもりだったと思います。

しかし、オンダシ河原での警官隊との「遭遇」により小池戸長宅に連行される破目になりました。

親鼻方面から、国道一四〇号を黒谷方向に行き、大塚交差点すぐ先を左に入ると(ムクゲ自然公園)入口の道)、右側に皆野町指定史跡「小池氏館跡」があります。ここが、秩父事件当時の皆野村戸長小池槌蔵の屋敷跡です。

館跡西側の道は、金崎―腰―黒谷の旧道。

館跡北側には土塁、館

皆野町の秩父事件⑭

跡南方に間口三間半×奥行二間の門構えが残っています。屋敷地に隣接する山側に庭園(「心字池」)があり、池南方の「大塚池」は、何昔前の近隣の



(小池槌蔵の墓)

子供たちが水遊びをした場所です(『皆野町誌 通史編』参照)。

大野福次郎らが、小池宅に勾留されていた時、福次郎組の田島竜助(風布下組・農・三五歳・科料二円)は持っていた「書類」を畳の下に隠しました。一月一七日の浦和軽罪熊谷支庁での「裁判言渡」による釈放後、竜助は小池宅に行き、「書類」を取り戻そうとしましたが、事前に家人に見つかり、来合わせた本野上分署宮石巡査が畳の下の「書類」を発見・押収するとともに、竜助を再逮捕しました。

この「書類」が、永保社の項で触れた大野福次郎所持の「①困民党盟約」、「②自由党入党願」四九名分、「③暴徒加盟者名簿」六〇人分(官側資料、三沢村の人名もあり)、「④自由党員名簿」九七名分、「⑤借入金名簿、質入金高品数記」(永保社その他からの借入金高・借入者一覧、質入金の高・借主一覧)

す(「大野福次郎裁判文書」)。

この押収された書類は、当時の風布とその周辺農民の経済状態や困民党指導者が困窮農民をどのように「困民」に組織して行ったか等を知る上で貴重なものです。

もし、大野福次郎らがオンダシ河原で警官隊に「遭遇」しなかったらこの書類は後世現れなかったでしょうし、しかも押収場所が町内であることに留意するため本項を設けた次第です。

なお、次回登場する土京の青木与市は、「自由党入党願」に名前のある一人ですが、一月三日、横瀬川の「橋向うの酒屋」で皆野に向う「暴徒」六人に会い、同行する途中、連中の話から小池戸長宅が放火されるかと心配し、抜け出してこれを戸長宅に知らせています。



(小池家門構え)

新米議員のひとりごと

常山 知子

16日投票の衆議院選挙。テレビでは毎日毎日、にぎやかに取り上げていますが、「あんなに多くちゃ、何がなんだかわからないよ。」「あつちに行ったり、来たり、まるで就職先をさがしているようだ。」そしてこんな川柳もできたようです。

「ワシは今、何党なのかと秘書に聞き。」笑い・笑い・笑いです。

「消費税を上げるなんて、とにかく困る。」「生活がやっていけない。」「一番多く聞く声です。」

「買い物も週2回のところ1回になるね。」「すると商店はもうからない、景気が今でさえ悪いのに、もつと悪くなる。」「そうだね。」「

「消費税の増税に反対の政党が国会で多数を占めれば、消費税増税は中止します。という法律が作れ、増税がストップできますよ。」「

さらに対話がはずみます。いそがしい毎日です。

さて12月は、町議会があります。年の瀬で お忙しい時期ですが、傍聴に来てください。